

ロンドン、2015年11月17日

Primetals Technologies、メキシコのFrisa社の製鋼工場向けに SVC システム装備の変電所を受注

- 製鋼システムで、自社原料を用いて高品質の特殊鋼リング用素材の生産が可能に
- サイリスタ制御リアクトル方式と光トリガサイリスタ技術により、静止型無効電力補償 (SVC) システムの信頼性が向上
- 2016年3月稼働開始に向けた短納期プロジェクト

Primetals Technologies は、世界的な鍛造品メーカーであるフリーサ社 (Frisa Forjados S.A. de C.V.) から、同社がメキシコのヴィリヤ・デ・ガルシアに保有する新製鋼工場向けの 230/34.5kV 変電所と静止型無効電力補償 (SVC) システムを受注しました。受注額は数百万ドル。同社は、この製鋼工場で自社の原料を用いて高品質の特殊鋼リング用素材の生産が可能となります。

今回の短納期プロジェクトの受注は、同社との長期に渡る関係により当社の技術力が高く評価されたことによるものです。新しく導入されるエンジニアリングソリューションには、デッドタンクサーキットブレーカー、制御盤とリレーパネル、計量装置、電力監視システム、34.5kV 中電圧開閉装置、SVC システムに加えて、2016年の第1四半期後半に立上げ予定の 230kV 変電所が含まれています。当社は、現場での試運転、サービスおよび新システムを運用するためのオペレータートレーニングも担当します。

この SVC システムはサイリスタ制御リアクトル (TCR) 方式とフィルター回路から構成され、電圧の不安定化、高調波歪み、力率低下およびフリッカーなどのアーク炉負荷による悪影響を低減。また、設計には、光トリガサイリスタ (LTT) 技術が活用されており、信頼性が高く、コンポーネント数が削減され、製品寿命がより長くなっています。

当社は、メキシコ国内のベンダーと緊密に連携を取り、メキシコ国有電力会社である CFE (Comisión Federal de Electricidad) 承認済みの LAPEM 標準に従った 230kV 装置を供給します。

Frisa 社はシームレス圧延リングおよび自由鍛造品の世界的な大手メーカーであり、炭素鋼、合金鋼およびステンレス鋼、チタン、超合金といった広範な製品により、高価値鍛造ソリューションを提供することで、幅広い産業に貢献しています。同社は非上場企業であり、メキシコ国内に 4 拠点、米国内に 1 拠点を擁し、製品の 95%を輸出しています。



左の建屋内に SVC システムを装備した変電所

原文プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies Japan 株式会社 総務部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階

TEL (03) 5765-5231

Primetals Technologies 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications and Marketing
Head: Heiko Huensch

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Primetals Technologies, Limited は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジー社の合併により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。発足時の従業員数は全世界で約 9,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com